



日本学術会議
SCIENCE COUNCIL OF JAPAN



IUPAB

CONNECTING THE
WORLD OF BIOPHYSICS

国際純粋および応用生物物理学連合
International Union of Pure and
Applied Biophysics (IUPAB)

2021年9月 日本学術会議

IUPABとは



設立

- 1961年 IUPAB設立
- 1966年 International Council for Science (ICSU)に加盟

目的

- 世界における生物物理学研究の振興
- 世界における生物物理学教育の支援

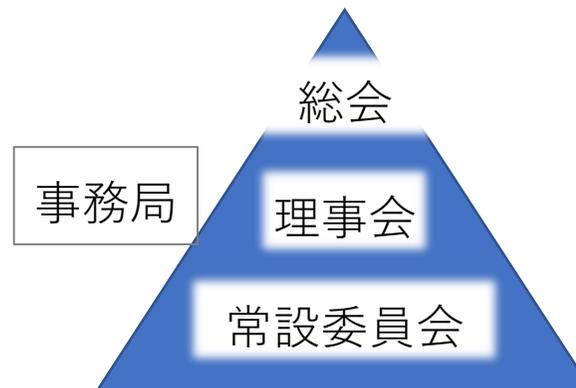
メンバー

加盟国・加盟地域数 61

資金

主として各加盟団体からの分担金

ガバナンス



IUPABの事業と社会貢献



ビジョン

生物物理学の振興による生命科学の発展

ミッション

生物物理学研究の国際的プラットフォーム

主な事業

学術会議の主催・協賛

- IUPAB congress : 生物物理学分野における世界最大級の学術会議の開催
- IUPAB focused meeting : 生物物理学分野における特定テーマに関する学術会議
- IUPAB sponsored meeting : IPUABが協賛する学術会議

出版事業

- Biophysical Reviews : 生物物理学研究の総説論文を掲載する学術雑誌

教育事業・若手表彰

- Biophysics Encyclopedia : 生物物理学辞典の発行
- IUPAB young investigator prize : 生物物理学分野における若手研究者奨励賞

日本学術会議・日本の生物物理学者によるIUPABへの貢献



組織運営への貢献

- 会長：2名（江橋節郎 1975~1978、永山國昭 2008-2011）
- 副会長：4名（江橋節郎 1972~1975、小谷正雄 1964~1969、郷信広1993~1996、永山國昭 2005~2008）
- 理事：6名（大澤文夫1969-1972、和田昭允1981-1987、郷信広1990-1993・1996-1999、永山國昭1999-2005、野地博行2014-2021、西坂崇之2021~）

財政的貢献

- 分担金の拠出

学術会議の貢献

- IUPAB congressを主催：第6回 京都大会（1978年）、第21回 京都大会（2024年予定）

学術的の貢献

- 1分子生物物理学：黎明期より日本が主導的成果
- 構造生物学：生体分子構造解析で数多くの世界的成果
- 理論生物物理学：構造形成理論・計算機実験・理論生物学における世界的成果